

発行日:2020年12月1日

ぼらせん便り臨時号1

東京都立大学ボランティアセンターシンポジウム

首都大から都立大へ、 ビジョンと共に歩み出す未来



11月1日にボランティアセンターシンポジウムをオンラインにて実施しました。このシンポジウムではこれまでのボランティアセンターの歩みを振り返るとともに、この度策定したボランティアセンターの5年後を見据えたビジョンとそこに込められた想いを発信しました。また、開催にあたってはオンライン特有の難しさがありました。運営に当たった学生コーディネーターを中心に協力しあって無事に開催することができました。

シンポジウム前半では、ボランティアセンター設立の経緯から、これまでのセンターや学生コーディネーターの活動や独自プログラムの取り組みの詳細に至るまでを説明するとともに、コロナ禍の現状における活動の報告も行いました。

続いてのトークセッションでは、長らくボランティアセンターを支えてきた二人をパネリストに迎えて、それぞれの目線からこれまでの活動や考えを振り返っていきました。

トークセッション中は、当時の思い出話や裏話に花を咲かせつつ、活動する際に意識していた視点や大切にしていた思いについても話題になりました。その中で、大学生がボランティアをすることの意味や都立大ボランティアセンターが築き上げた文化と価値について掘り下げることができました。

文章:味野和 編集:宮崎

発行日:2020年12月1日

ぼらせん便り臨時号2

東京都立大学ボランティアセンターシンポジウム

首都大から都立大へ、 ビジョンと共に歩み出す未来



シンポジウム企画の一つ、後半に行われたトークセッション2では、五年後に向けてビジョンを作成したメンバーの皆さんと、会議の際の話や今後の展望などを約40分間にわたってお話しました。ポイントは何といても視聴者投票でトークテーマを選ぶという参加型だったことです。登壇してくださった学生コーディネーターの石川君も感想で、「zoomウェビナーの投票機能を使った話題決めが、ライブ感があってドキドキしましたが、とても楽しかったです。」とってくださいました。投票で決まったテーマは【実現に向けた私の挑戦】。それぞれの立場での意気込みを聞くことができました。

また、同じく登壇者である職員の大和田さんからは「学生教職員が丸となり策定したビジョンを、都立大ボラセンらしい形でお伝えすることで、この先へとつなぐ第一歩となったと思う」という感想をいただきました。ビジョン作成会議のことを振り返るだけでなく、未来志向での話を皆さんに聞いていただけで良かったと思います。今後も未来に向かって変化し続ける都立大ボラセンを応援していただけると嬉しいです!

文章:大貫 編集:宮崎